

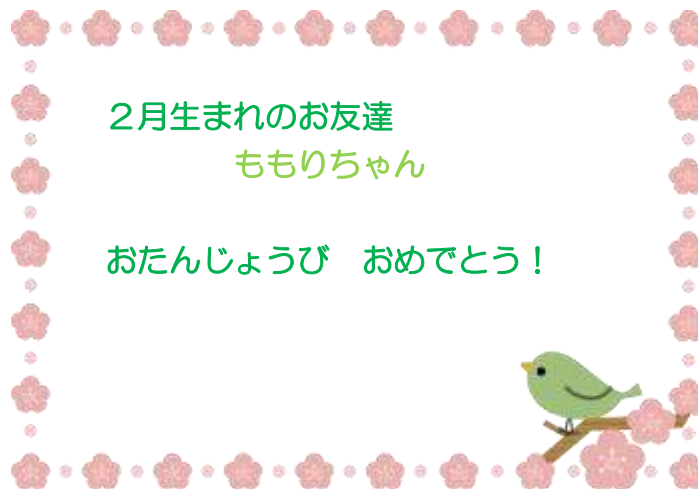
西宮こもれび キンダーガーデン

2023年2月号

厳しい寒波がやってきましたね。寒さにもかかわらず、子ども達は雪や氷を楽しんでいました。ワクワクする子ども達の様子に、寒さも和らぐ気がしました。

一月の食育は「魚」でした。大きな鯛をみんなで見て、触りました。今年度は積極的に魚に触るお子さんが多く、キラキラした生魚の目をツンツンする子もいました。オーブンで焼いた後の鯛、身をとって骨だけになった鯛も大きい子たちは見ることができました。我々の食卓にのぼる食材は、加工されて食材の元の姿がわかりにくいことが多いです。今回の食育で、食材の元の姿を知り、命をいただいていることを考える機会になれば嬉しいです。

(記・大國さおり)



2月生まれのお友達
ももりちゃん

おたんじょうび おめでとう！

～今月の予定～

- 3日(金) 節分
- 7日(火) 身体測定
- 10日(金) 食育「大根とカブ」
- 13日(月) ダンスリトミック
*外部講師によるプログラムです
- 16日(木) クリーン活動
- 17日(金) 料理「豆腐ハンバーグ」
- 24日(金) 避難訓練

手しごとの記憶

みかんが美味しい季節ですね。子ども達も大好きです。みかんやふかし芋がおやつの時、大きいお友達は自分で食べる分の皮をむきます。皮むきが少し苦手な子もいますが、何回か経験を重ねることで、コツを覚えて上手になっていくことでしょう。小さいお友達は、その様子を見ることで、見る経験を重ねています。いずれ、自身の手で皮むきができるようになるでしょう。まず、目で見て、やってみて、失敗を繰り返して、手が仕事を覚えていきます。

昔は生活の中で大人の手しごとを見る機会が多かったように思います。料理、洗濯、裁縫などの家事だけでなく、盆栽の世話、そろばん、大工仕事、野菜作りなど…。淡々と手しごとをする大人の姿は格好いいものです。現代人は便利な生活を手に入れた半面、手しごとが減ってしまいました。我々は手しごとの楽しみを手放してしまっているのかもしれない。

園では、手を動かすことの楽しさを経験してもらいたいと考えています。制作、お料理、野菜のお世話や収穫、靴の着脱、食器を持ったり、ハサミを使ったり…。生活の中にも手を使うシーンはたくさんあります。子どもの頃に覚えた手しごとは一生モノです。手しごとを通して、豊かな感性と表現力が身に付きます。子ども達の手は、素敵な「発見」と「喜び」をたくさん産み出す手であってほしいと願っております。